

表2 「深い地盤構造」の1次モデルの物性値

	$V_p$ [m/s]	$V_s$ [m/s]	密度 $\rho$ [g/cm <sup>3</sup> ]	$Q_p, Q_s$	対応する地質
1	2000	600	1.90	100	沖積低地下に分布する第四紀層(更新統～完新統)、大分層群
2	2500	1100	2.15	100	久留米層群などの鮮新統と鮮新世～更新世の火山岩類
3	3000	1400	2.25	100	野島層群などの中～上部中新統
4	3500	1700	2.30	100	相浦層群、佐世保層群などの上部漸新統～下部中新統
5,6	4000	2100	2.40	200	古第三紀(暁新世～漸新世)の石炭を挟む堆積層。上部白亜紀層の大野川層群
7	5000	2700	2.50	200	下部白亜紀層の関門層群
8	5500	3100	2.60	300	白亜紀ないしそれより古い花崗岩類、塩基性深成岩類、変成岩類、白亜紀より古い堆積岩類(付加体堆積物)

表3 「地震基盤以深の地殻構造」のモデルの物性値

	深さ(km)	$V_p$ [m/s]	$V_s$ [m/s]	密度 $\rho$ [g/cm <sup>3</sup> ]
上部地殻	19	5900	3400	2.7
下部地殻		6600	3800	3.0
上部マントル	30	7600	4300	3.3

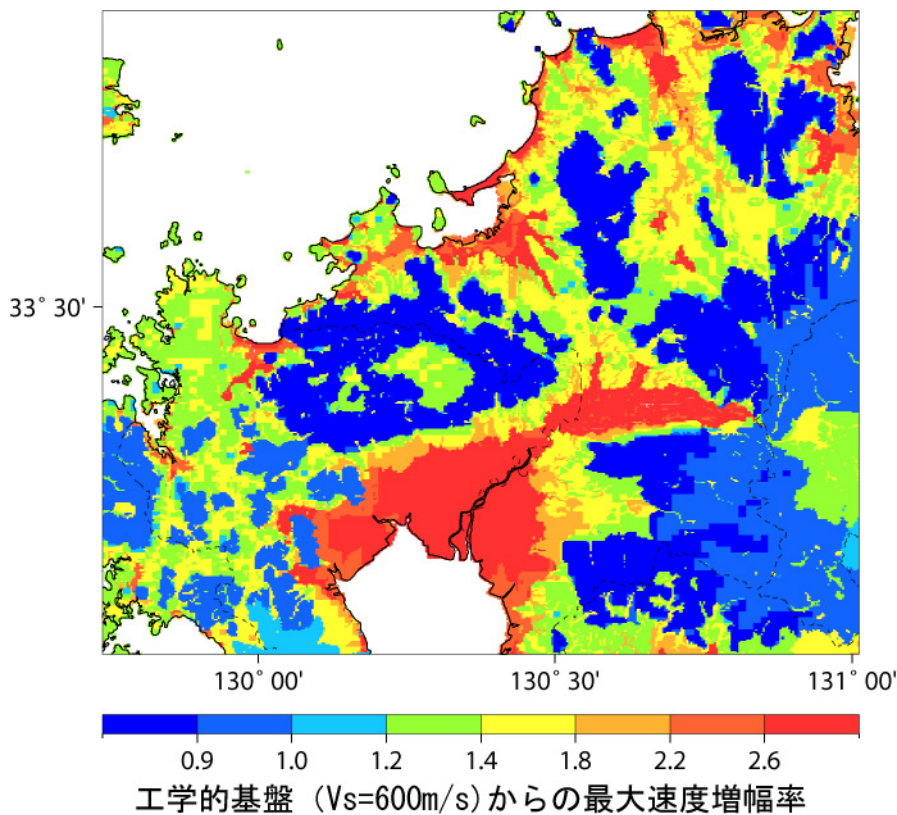


図5 「浅い地盤構造」モデルとして用いる最大速度増幅率 (約250mメッシュ)